

議 事 概 要

協議会名称	伊勢市地域包括ケア推進協議会(第8回)
開催日時	令和8年6月12日(金) 13:30~14:55
開催場所	伊勢市役所本庁舎東館5階5-3・5-4会議室
出席した委員	中野一茂、富田薫、前村裕司、斎藤茂、森川和俊、伊藤弘、浦田貴大、羽根孝、水島徹、有賀真津夫、松本剛、赤坂知之 計12名
欠席した委員	徳田敦、村瀬広和、北岡孝裕、池田恵津子 計4名
出席した事務局職員	大桑(健康福祉部長)、堀川(健康福祉部次長)、藤川(介護保険課長)、古川(副参事兼介護保険料係長)、井波(主幹兼介護認定係長)、中村(主幹兼介護給付係長)、田所(介護給付係)、奥野(福祉監査室長)、瀧鼻(事業所係長)、野北(高齢・障がい福祉課長)、中川(高齢福祉係長)、谷(健康福祉部参事兼福祉総合支援センター長)、小川(副参事)、田代(副参事)、中川(主幹兼総合相談係長)、北口(主幹兼地域包括ケア係長)、村井(健康課長)、中村(健康づくり係長)、木下(医療保険課長) ※計19名
傍聴者	2名
	1 令和8年度地域包括ケア推進協議会運営等スケジュールについて「資料1」 ○令和8年度地域包括ケア推進協議会運営等スケジュールについて、事務局から資料に沿って説明 →了承 2 第10次老人福祉計画・第9期介護保険事業計画における取組等の進捗状況等について「資料2、資料2-1」 ○第10次老人福祉計画・第9期介護保険事業計画における取組等の進捗状況等について、事務局から資料に沿って説明 委員「市民アンケートの結果が目標値に及ばなかったのはなぜだと思うか。」 事務局「市民アンケートは、毎年度回答者が違うことや年代別で回答に違いが見られることが影響していると考えられる。」 委員「生活支援サポーターがどの程度活躍しているのか。啓発などを行っているのか。」 事務局「シルバー人材センターに登録し、シルバー応援隊として

議題及び協議概要	活躍いただいている方が 10 名程度、各地域で付き添い支援や通所の場をやっていただいている方が 33 名程度いる。これから地域のニーズが高まると考えられるので、更にご活躍いただけるようにしていきたいと考えている。」 委員「自分が住んでいる地域で生活支援サポーターを募集しているなどの情報に接したことがない。437 人受講して、活躍している人が 10%程では寂しい。活躍の場などの広報にも力を入れて活躍できる場を作ってもらいたい。」 →了承 3 第 11 次老人福祉計画・第 10 期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査の結果報告について「資料 3」、「資料 3-1」 ○第 11 次老人福祉計画・第 10 期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査の結果報告について、事務局から資料に沿って説明 委員「今後の伊勢市が進めていくべき内容をどう考えているのか。」 事務局「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果がまとまったところである。これから、各種の調査結果などを元に検討を進めたい。」 委員「各種サポーター養成講座などの研修を受けたが、その後何をするのかの案内が全くない。生活支援や医療などの大事なポイントが調査結果に表れている。データの収集は良いが、その後どう活かすのかが大切である。」 事務局「アンケートの結果を元に、前回との違いも含めて、計画やそれぞれの事業につなげたい。」 委員「サポーターの年齢層はどうなっているのか。」 事務局「だんだんと高齢化している。」 委員「サポーター養成講座には高齢者の方が参加しているが、高校生や大学生などの若い人への働き掛けも大事なのではないか。活動内容を周知することで、何が必要なのか若い人に考えてもらいたい。」 委員「先日、障がい者の体育祭があり、障がい者サポーターの方にご協力いただいた。活躍いただける場としてはイベントのイメージがあるので、活躍の場が少ないとは一概に言えないのではないか。サポーターの研修を受けることで意識が高まり、例えばヘルプマークを付けている人が困っていたら、サポーターは率先して助けてくださったり、大きな力になっていくのではないかなと思う。」 委員「今の大学生は、経済的に厳しい人も多く、日々精一杯であ
----------	--

る。その中でも、ボランティアやアルバイトを一生懸命やっている。大学生が大変であるという現状もご理解いただきたい。」
委員「アンケート結果を踏まえてどう考えているのか。次期計画を作ってほしい。今、お答えいただけるものではないと理解している。」

→了承

4 地域密着型サービス事業所等の指定等について「資料4」、「資料4-1」

○地域密着型サービス事業所等の指定等について、事務局から資料に沿って説明

委員「看護小規模多機能型居宅介護が1事業所増えたが、小規模多機能型居宅介護が減ったので、全体的に見て地域密着型サービスの充実には至っていないように感じた。」

委員「事業所の廃止について、基準の関係でというのは理解できるが、元々必要性を認めて指定したが、実績がなければ廃止を認めるというのは軽いのではないか。」

事務局「当該事業所は、定員を30名から18名にした。過去2年間で生きがいデイサービスの実績がなく、廃止に至った。」

→了承

5 地域密着型サービス事業者等の運営状況及び指導について「資料5」

○地域密着型サービス事業者等の運営状況及び指導について、事務局から資料に沿って説明

委員「指摘事項に対して、どのように改善されたかを資料に記載していただけないか。」

事務局「来年度の報告に向けて、資料の記載方法を検討したい。」

委員「文書指導と口頭指導の違いは何か。また、利用者の人数と指導件数の多さには関係があるのか。」

事務局「文書指導と口頭指導の違いは、国の指導マニュアルにより分類されている。利用者の人数との関係については、一概には言えない。」

委員「指導の頻度はどうなのか。」

事務局「指導の頻度は国のマニュアルに沿いつつ、状況も踏まえて入ることもある。」

→了承

6 地域包括支援センターの運営について「資料6」、「資料6-1」、「資料6-2」

	○地域包括支援センターの運営について、事務局から資料に沿って説明 委員「相談件数については、業務が回ってなくて訪問件数が減っている地域包括支援センターがあるのではないのか。」 事務局「現状としては、来所による相談件数が増えている所がある。どの地域包括支援センターも、来ていただくことが難しい場合は訪問で対応し相談に応じている。」 →了承 7 認知症にやさしいまちづくり分科会 臨時委員の追加委嘱について「資料7」 ○認知症にやさしいまちづくり分科会 臨時委員の追加委嘱について、事務局から資料に沿って説明 →了承 8 その他 ○事務局より連絡 次回の協議会は、8月31日（月）の開催を予定している。日程が近づいたら、改めてご案内させていただく。
--	--